

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	29年度事業・施策評価結果			責任者	港営部 水族館事業担当課長
施策名	うらおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト			
事務事業名	名古屋港水族館の振興	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7816
目的	対象(誰・何を)	広く一般の利用者			事業期間	平成18年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	海洋文化の普及に努めます。				
概要	水族に関する知識や水族への親しみ、県民・市民の健全な余暇の活用などを目的とした名古屋港水族館の振興を図ります。				根拠法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例、名古屋港水族館条例
30年度の実施予定	指定管理者に対して、定期的な会議、モニタリングを通して、指導・助言を行っていきます。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連シート	

2 DO(実施)

30年度に実施した内容・結果	指定管理者に対して、定期的な会議、モニタリングを通して、緊密な情報交換、必要な指導・助言を行い、利用者が増加するよう努めました。クラゲの常設展示室「くらげなごりうむ」のオープン、特別展「へん(だけど)カワ(イイきもの)展」の開催や、ニュースリリース、テレビCM、SNSを活用した広告宣伝を始め、県外地域へも広報活動を積極的に行うなど、効果的な情報提供に努めるとともに、同館初の人工授精によるバンドウイルカの赤ちゃんが誕生するなど、繁殖研究に取り組みました。また、「ウミガメ回遊水槽」の補修を完了(平成31年3月リニューアルオープン)するとともに、鯨類のより良い繁殖環境のあり方検討調査に取り組みました。					
コスト	単位	28年度	29年度	30年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	340,439	1,090,240	745,645	725,441	事業費には、本組合が実施した施設の工事費や生物の借上に係る費用等を計上しています。なお、平成30年度は、シャチを購入した平成29年度に比べ減少しましたが、ウミガメ回遊水槽補修工事等により、平成28年度に比べ増加しました。
人件費	千円	15,231	24,813	31,345	23,796	
合計	千円	355,670	1,115,053	776,990	749,238	

3 CHECK(検証)

指標名		28年度	29年度	30年度	最終目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
入館者数(万人)	目標	210	221	221	221	221	過去の実績等を踏まえた目標入館者数	天候、景気
	実績	197	222	211				
(単年度管理型)	事業進捗状況(30年度)		<input type="checkbox"/> 目標値を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標値をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標値を下回る					
ニュースリリース数(件)	目標	104	104	104	104	104	イベントや企画等のニュースリリースを発行した件数。平成23～25年度の平均値	
	実績	82	68	67				
(単年度管理型)	事業進捗状況(30年度)		<input type="checkbox"/> 目標値を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標値をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標値を下回る					
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)		入館者数は、記録的な猛暑が続いた中、目標値を下回りましたが、イルカパフォーマンス、シャチ・ペルーガ公開トレーニングなどのイベントに加え、バンドウイルカの赤ちゃん誕生、「くらげなごりうむ」や特別展などが好評を得るとともに、テレビCMやSNSを活用した広告宣伝等を積極的に行い、平成4年開館以来初めて2年連続で200万人を超えました。ニュースリリース数は、目標値を下回りましたが、ホームページの活用その他、ブログやSNSを活用した広告宣伝を始め、県外地域へも広報活動を積極的に行うなど、効果的な情報提供に努めました。						
必要性・有効性・効率性の検証		評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	<input type="radio"/>	親しまれる港づくりを推進するため、本組合が関与する必要があると考えています。また、広く一般の利用を対象として海洋文化の普及に努めており、利用者ニーズや社会環境に適合しています。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	<input type="radio"/>	入館者数は、目標値を下回りましたが、開館以来初めて2年連続で200万人を超え、多くの人が訪れる施設となっており、本港のにぎわい創出に貢献しています。					
	期待どおりの成果が得られているか?	<input checked="" type="radio"/>	ニュースリリース数は、目標値を下回りましたが、ホームページの活用その他、ブログやSNSを活用した広告宣伝を始め、県外地域へも広報活動を積極的に行うなど、効果的な情報提供に努めました。					
効率性	最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	施設の維持修繕等は優先順位を定め、最少のコストで最大の効果が得られるよう努めています。					

4 ACTION(取組)

5年間の状況	課題	令和元年度以降の取組	継続
目標値をやや下回る	名古屋港水族館は、更なる集客や施設の良好な維持管理を図るとともに、引き続き、多くの県民・市民等に親しまれる施設として持続的に発展していく必要があります。	名古屋港水族館は、繁殖研究を鋭意推進するとともに、多彩な展示・イベントの開催や積極的なPRを実施し、更なる魅力向上による一層の集客に努めていきます。また、老朽化した施設の計画的な更新に向け、令和元年度は、「港湾施設等アセットマネジメント推進計画」の策定に取り組んでいきます。それを踏まえ、持続的な発展のため、今後20年間を見据えた中長期計画の策定(令和4年度目途:開館30年目)に取り組んでいきます。	